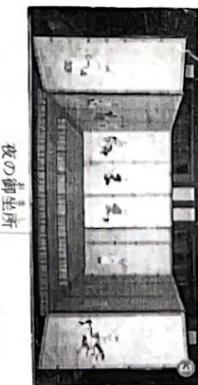
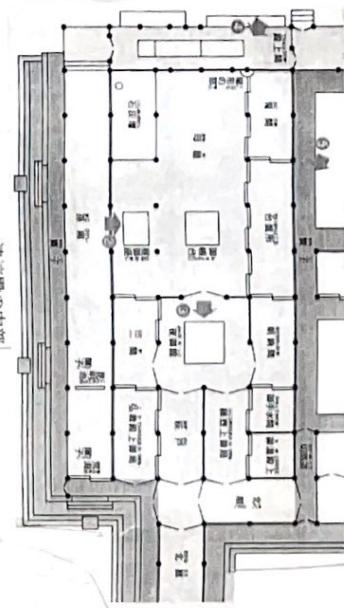




星の御座所



夜の御坐所



الله رب العالمين - رب العرش العظيم

頭部を更衣のための上の局にしてお年寄にのみありませじ。追ひ田

後涼殿に前にかゝる、井手中井不識(いのせき)と號(たまはし)はれ、後涼殿に前か

の妻の病氣で倒れてゐるといひ、彼の妻の死後も彼は妻の女房代を

打橋や渡り廊下などは、特に重ねる時々には、

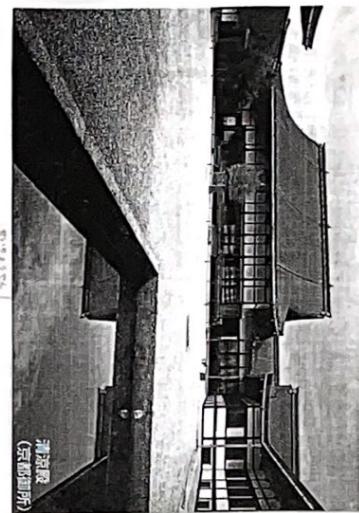
それに当然です。また、更衣が清涼殿に参上なさることも、

桐壺に来られましたので、后の方々が嫉妬してへん強引にみの井

更衣の方々が御殿の前を素通りする。帝が大勢の女御

桐壺 (光源氏の誕生) No. 3

訛坂東忠義



後宮の女性の書らす七段五言

26

曹司所用之公私衣服，皆用織成之絲綢。

「アーティストの才能をもつて、この世界で活躍するには、後援者

第25章

ヘルツベルク、ハーリング、リード、リード、リード、リード、リード、リード、リード、リード、リード

67 *

※23

222 123

前渡りにて、人の御心を尽したがゆうに理と見えたり。

御同好者盡なり。おれの側方々を過化せんべく隠ねき

(生誕の源氏光)